
あーゆーれでい？

鯉武士

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あーゆーれでい？

【Nコード】

N6081P

【作者名】

鯉武士

【あらすじ】

　　年齢18歳にして人生に飽きていた一見ドコにでもいる少年、小鳥遊　蒼司《たかなし　そうじ》。

　　そんな彼が不思議な声に導かれ、行き着く先はなんと異世界だった。

『いや、まあ確かに飽きたと言っただけだよ………』

第1話 良いのかこれで？（前書き）

誤字、脱字がありましたらすみません。

第1話 良いのかこれで？

《ふぁ……………だりい》

とある学園の屋上で倦怠感をにじませる声がある。

(…いや、今どき真夏にサッカーってどうなのさ)

ある人物は自分のクラスメイトが校庭を走る姿を横目に屋上にある給水塔の日陰で昼寝をしている。

今は昼休みが終わり、体育の授業の時間である。

(つーかいい加減教室にもエアコンつけようぜ校長…)

只今絶賛お昼寝(サボリ)中であるこの男、姓を小鳥遊(たかなし)名を蒼司(そうじ)

何処にでも一人はいる平凡な男子学生である。

(つーかここー(屋上)が一番涼しいっちゃん涼しいんだけどまだ充分熱いんだよなあ…)

もつとも、

その評価は本人の主観ではあるが。

性格は天然、鈍感、面倒臭がりの三拍子。

身長は180後半あり、顔は美形ではないが普段は仏頂面なのに笑うと保護欲をそえられる様な人懐っこい笑みが浮かぶ。

身体も特に引き締まってるわけではないが適度に筋肉がついている。

スポーツ、勉強ともに成績はそこそこできる。（あまり本気で何かをした事がないのでどれぐらいかは本人もわからない）
…もつとも面倒臭がらないならではあるが。

屋上の給水塔の影で彼は横になって校庭を眺めていた。

この独特の性格と容姿で密かに彼を狙っている一部の女子達がいたりする…というのもまた別の話。

（つかもう全てがダルいな…）

そんな彼は齡18歳にして自分の人生に飽きていた。

繰り返される日常、

繰り返される言葉、

繰り返される物事、

そのすべてに。

その虚無感を癒すために役に立つ事立たない事、善行悪業様々な事に手を付けてきた。

しかし結局は徒勞に終わり、虚しさだけが残った。

彼にとっては文字通り『暇潰し』で終わってしまったのである。

（なんか面白いことねーかなあ……………こう…なんつーの？世界がぐるっと変わるような…）

暇を潰そうと途方も無いことを考える。

すると放送が聞こえ、教員が自分呼び出す声が聞こえる。

いつの間にか体育の授業は終わり、クラスメイトの姿もなくなっている。

既に時刻は放課後、校門から帰宅する生徒の姿が見える。

思った以上に時間が経っていたのに少し驚き、まあ時間が潰れたので良しとしよう、と思い直しながら彼はため息をつき、面倒くさいと思いながら階段へと続く扉へと向かう。

これから始まる恒例行事――（説教）の事を考えながらドアを開く。

その瞬間。

《用意は出来ているか、我が半身？》

『小鳥遊 蒼司』という存在はこの世界から消え去った。

第1話 良いのかこれで？（後書き）

はじめまして、鯉武士《かつおぶし》と申します。

初の投稿になりますので色々やってみようかと思いますが、どうか暖かい目で見守ってあげてください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6081p/>

あーゆーれでい？

2011年1月8日20時30分発行